

平成22年度

全国私立中学高等学校

第58回

全国私学教育研究集会長崎大会

実施案内

時代を創造する
人材の育成をめざして
—私学教育の挑戦—

会期 平成22年10月14日(木)・15日(金)の2日間

会場 ー長崎県佐世保市ー ウィンズ佐世保 ゲルックホール
ハウステンボス ホテルヨーロッパ/ユトレヒト会議室 他

主催 財団法人日本私学教育研究所/財団法人私学研修福祉会
後援 長崎県/佐世保市/日本私立中学高等学校連合会
実施 長崎県私立中学高等学校協会/九州地区私立中学高等学校協議会

も く じ

ご案内	1
実施概要	2
全体会	4
記念講演	5
1 私学経営部会	6
2 教育課程部会	8
3 生徒指導部会	10
4 進路指導部会	12
5 国際理解教育部会	14
6 特色教育部会	16
参加申込みと参加費の納入について	18
宿泊の申込みについてのご案内	20
交通のご案内	20
会場・宿泊ホテル案内図	22
平成22年度 第58回全国私学教育研究集会長崎大会 参加申込書	
平成22年度 第58回全国私学教育研究集会長崎大会 宿泊交通機関申込書	

ご 案 内

第58回全国私学教育研究集會長崎大会は、平成22年10月14日(木)・15日(金)の2日間、佐世保市のハウステンボスを主会場として開催いたします。

本大会につきましては、既に「開催速報」にて基本日程や会場、設置部会とそのテーマなどをお知らせいたしましたが、全体集会のより詳しい内容と設置6部会の具体的概要について改めてご案内いたします。

本大会を実施するにあたり、九州8県の私学の皆様から多大なるご支援を賜りましたことに対し、長崎県関係者一同心より感謝申し上げます。

さて、私たちには、激動する時代に人生の確かな価値を見出し、生きる喜びに溢れた社会を実現することが求められています。時代を担う青少年の輝く未来のために、いま私学教育に何が求められ、それらの課題にどのように挑戦していくかということから、メインテーマを「時代を創造する人材の育成をめざして—私学教育の挑戦—」としました。私学教育の役割を認識し、その戦略的思考を高めるため、共に研修を深めていきたいと考えます。

記念講演では、ノンフィクション作家・評論家の柳田邦男先生にお引き受けいただきました。また、6つの部会を設置し、長崎県内の全学校が大会の準備・運営にあたることにしております。

古くから大陸と交流の歴史を持ち、西洋に開かれた窓口であった長崎。日本の文化の形成や近代化に大きな役割を果たすとともに、特色ある地域文化を育ててきたこの地に生まれた“ハウステンボス”は、現代の出島として海外との文化交流を図っていきながら新しい街のあり方を提案してきました。

全国から多くの先生方のご参加をいただき、このハウステンボスで交流を深められ、今後の私学の飛躍につながる研究集会となることを祈念し、ご案内申し上げます。

平成22年5月

第58回全国私学教育研究集會長崎大会実行委員会

委員長 上田 祐規

(九州地区私立中学高等学校協議会会長)

実施県会長 安部 直樹

(長崎県私立中学高等学校協会会長)

実施概要

1 研究目標 時代を創造する人材の育成をめざして 一私学教育の挑戦一

2 会 期 平成22年10月14日（木）・15日（金）の2日間

3 会 場 ハウステンボス（長崎県佐世保市）
 全体会場 ウインズ佐世保ゲルックホール
 部会会場 ホテルヨーロッパ, ユトレヒト会議室 他
 ※初日の受付時・レセプション終了時および2日目の部会受付時・終了時に送迎バスを運行しますのでご利用ください。
 詳細は本実施案内21ページをご覧ください。

4 募集人員 700名

5 基本日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月14日 (木)					受 付	開 会 式	全 体 会 報 告 記 念 講 演		教 育 懇 談 会
10月15日 (金)		部 会		昼 食	部 会		閉 会 式		

6 全体会

(1) 報 告

日本私立中学高等学校連合会および日本私学教育研究所の事業
 ならびに今後の私学教育への取り組みについて

日本私立中学高等学校連合会 会 長 吉 田 晋
 財団法人日本私学教育研究所 理事長

(2) 記念講演

「絵本・読書と心の成長」
 ノンフィクション作家・評論家 柳 田 邦 男

7 部 会

- 1 私学経営部会 私学の活性化と魅力ある学校づくり
(200名)
- 2 教育課程部会 教育課程における私学の独自性と展望
(100名)
- 3 生徒指導部会 基本的な生活習慣—自立・自律—を育成する生徒指導
(90名)
- 4 進路指導部会 生徒の潜在能力を掘り起こす、堅実な進路指導の実践
(150名)
- 5 国際理解教育部会 私学教育における国際交流・国際理解
(80名)
- 6 特色教育部会 社会のニーズに応える特色ある私学教育のあり方
(80名)
- 8 教育懇談会 全体集会終了後、「ハウステンボス ユトレヒトプラザ」に会場を移動して行います。
参加会費5,000円
※参加をご希望の方は、参加申込書の所定欄に「○」をご記入下さい。
- 9 参加費 部会1～6 **13,000円**（九州地区内の学校の参加者は**10,000円**）
（教育懇談会費は含みません。）
- 10 参加申込 本案内の17ページを参照いただき、9月16日（木）までに参加申込みをお願いします。
- 11 問 合 先 財団法人日本私学教育研究所
「全国私学教育研究集会長崎大会」担当
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階
TEL 03 (3222) 1621 FAX 03 (3222) 1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

全 体 会

1 日 時 平成22年10月14日（木） 13時30分～17時00分

2 会 場 ウインズ佐世保 ゲルックホール

3 第 1 部

開 会 式 13時30分～14時10分

- (1) 開会のことば
- (2) 主催者挨拶
- (3) 実行委員長挨拶
- (4) 歓迎のことば
- (5) 来賓祝辞
- (6) 次期開催地代表挨拶
- (7) 閉会のことば

4 第 2 部

全 体 会 14時20分～17時00分

(1) アトラクション

「龍踊り（じゃおどり）」

鶴鳴学園長崎女子高等学校 龍 踊 部

(2) 報 告

「私学教育への取り組みについて」

日本私立中学高等学校連合会 会 長

財団法人日本私学教育研究所 理 事 長 吉 田 晋

(3) 記念講演

演 題 「絵本・読書と心の成長」

講 師 ノ ン フ ィ ク シ ョ ン 作 家 ・ 評 論 家 柳 田 邦 男

5 運営委員

委 員 長 中 嶋 将 晴（青雲中学校・高等学校 校長）

副 委 員 長 横 尾 和 雄（佐世保実業高等学校 校長）

奥 田 修 史（創成館高等学校 校長）

中 村 洋（聖マリア学院中学校 校長）

委 員 川 脇 秀 文（青雲中学校・高等学校 教頭）

井 桶 宏 治（佐世保実業高等学校 教頭）

森 田 豊（創成館高等学校 教頭）

山 口 修 一（青雲中学校・高等学校 教諭）

立 石 泰 久（佐世保実業高等学校 教頭）

野 里 順 一（創成館高等学校 教諭）

記念講演

演 題 「絵本・読書と心の成長」

講 師 柳 田 邦 男
(ノンフィクション作家、評論家)



【プロフィール】

1936年、栃木県鹿沼町（現鹿沼市）に生まれる。

現代における「いのちの危機、心の危機」をテーマに、医療問題をはじめ、事故・災害・事件などについて、執筆や講演の活動を続けている。

最近では、親子双方の「心の危機」に注目し、「大人の心の再生に絵本を」「絵本の読み聞かせは心育ての特効薬」というキャッチフレーズで絵本活動に力を注いでいる。

1972年「マッハの恐怖」で第3回大宅壮一ノンフィクション賞

1995年「犠牲 わが息子・脳死の11日」などで第43回菊池寛賞

2005年絵本「エリカ 奇跡のいのち」で日本絵本賞翻訳絵本賞

など受賞多数。

最近の主な著書に、

「壊れる日本人—ケータイ・ネット依存症への告別」（2007 新潮社）、

『気づき』のカー生き方を変え、国を変える」（2008 新潮社）、

「生きなおす力」（2009 新潮社）、

「大人が絵本に涙する時」（2006 平凡社）、

「新・がん50人の勇気」（2009 文藝春秋）、

「みんな絵本から」（2009 講談社）

などがある。

また、主な翻訳絵本に、

「だいじょうぶだよ、ゾウさん」（2005 文溪堂）、

「ヤクーバとライオン 1 勇気」（2008 講談社）、

「ヤクーバとライオン 2 信頼」（2008 講談社）、

「でも、わたし生きていくわ」（2009 文溪堂）、

「少年の木 希望の物語」（2009 岩崎書店）、

「その手に1本の苗木を マータイさんの物語」（2009 評論社）、

「やめて！」（2009 徳間書店）

などがある。

1 私学経営部会

今年度から始まった公立高校の授業料無償化と高等学校等就学支援金の支給は、今後の私学経営に少なからぬ影響を及ぼすだけに、私学を経営する者にとっては大きな関心事である。

とりわけ、導入された制度が、受験生の私学離れに繋がらないよう願っている。

さて、私立学校にとって「財政」と「教育内容の充実」は経営の根幹をなすものである。「建学の精神」を高く掲げて自由闊達な教育を標榜するものの、「魅力ある学校づくり」を推進することは、容易なことではない。

本部会では、「講演」と「実践報告」を通して研修が深められ、各学校の活性化の一助になることを期待している。

- 1 研究目標 私学の活性化と魅力ある学校づくり
- 2 会場 ハウステンボス ホテルヨーロッパ「レンブラントホール」
- 3 募集人員 200名
- 4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受付	講演Ⅰ	講演Ⅱ	昼食	実践報告	実地研修		閉会式	

- 5 内容
 - 講演Ⅰ 「私学をとりまく状況の変化と問題点」
講師 東京女子学園中学校・高等学校 理事長・校長 實吉 幹 夫
 - 講演Ⅱ 「私学の課題と経営戦略」
講師 学校法人山中学園 理事長 山中 幸 平
 - 実践報告 「ながさき私学魅力アップ事業の取り組み」
 - ① 「ながさき私学魅力アップ事業」の概要
発表者 長崎県総務部学事振興室 私立学担当
 - ② 21世紀の真心鶴鳴を目指して
発表者 長崎女子高等学校 副校長 山添 和 夫

③ 郷土の歴史と文化の探訪

発表者 瓊 浦 高 等 学 校 教 頭 岩 永 義 宣

実地研修 「企業に学ぶ環境教育 ―ハウステンボスの施設見学―」

※下記の①、②のコースより選択していただきます。

① 施設見学コース

下水処理システム、コ・ジェネレーションシステム、共同溝（施設全体に張り巡らせた電気・通信・熱・水のネットワーク）

② ecoウォークコース

太陽光発電システム、運河浄化システム、リサイクルコンポシステム、長崎次世代エネルギーテーマ館

6 講師プロフィール

實 吉 幹 夫

昭和45年、学習院大学経済学部卒業。同年、長銀不動産（現日本ランディック）株式会社入社。昭和60年、東京女子高等学校社会科教諭に就任。平成元年、学校法人東京女子学園理事に就任。平成12年、東京女子学園中学校・高等学校校長に就任。平成15年、学校法人東京女子学園・理事長に就任、現在に至る（校長兼任）。主な公職として、東京都私立学校審議会委員、東京私立中学高等学校協会副会長、財団法人東京都私学財団理事、日本私立中学高等学校連合会・常任理事、財団法人日本私学教育研究所理事など多数。平成19年、東京都教育功労者表彰・受賞。

山 中 幸 平

中央大学商学部会計学科卒業。学校法人山中学園評議員、理事及び副理事長を経て、昭和61年より理事長に就任、現在に至る。平成4年より三原国際情報専門学校長、平成6年より学校法人順正学園監事を兼務（至現在）。平成8年より広島県私立学校審議会委員。平成12年より日本私立中学高等学校連合会理事に就任（至現在）。同年、広島県私立中学高等学校協会会長、中国地区私立中学高等学校経営者協議会会長、財団法人日本私学教育研究所理事（至現在）等を兼任。平成20年より日本私立中学高等学校連合会副会長、翌年財団法人日本私学教育研究所副理事長に就任。

7 運営委員

委員長	古 峨 和 之（瓊浦高等学校 校長）
副委員長	柳 川 伸 一（長崎女子高等学校 校長）
委員	岩 永 義 宣（瓊浦高等学校 教頭）
	山 添 和 夫（長崎女子高等学校 副校長）
	山 口 敦（瓊浦高等学校 教諭）
	前 田 洋（長崎女子高等学校 教諭）
	道 下 慶 子（瓊浦高等学校 教諭）
	佐 藤 光 一（長崎女子高等学校 教諭）

2 教育課程部会

高等学校新学習指導要領は、平成25年4月から年次進行で全面実施され、平成22年度からは総則、総合的な学習の時間および特別活動が先行実施され、また平成24年度には数学と理科が先行実施される。

本部会においては、その先行実施を見つめ、私学のあり方を考えながら教育課程について研修を深めたいと思う。

- 1 研究目標 教育課程における私学の独自性と展望
- 2 会 場 ハウステンボス ユトレヒト3階 第1会議室
- 3 募集人員 100名
- 4 日 程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受 付	講 演 I	研究発表 I	昼 食	講 演 II	研究発表 II		閉 会 式	

- 5 内 容
- 講 演 I 「新学習指導要領の理念と私学教育」
講 師 長 崎 大 学 教 育 学 部 教 授 藤 木 卓
- 講 演 II 「進学指導と教員の資質向上」
講 師 福岡工業大学附属城東高等学校 校長代理 村 岡 雄 治
- 研究発表 I 「本校の進学指導について」
発表者 宮 崎 第 一 中 学 校 ・ 高 等 学 校 教 頭 藤 崎 伸 之
- 研究発表 II 「職業意識を高める教育課程」
発表者 長 崎 女 子 商 業 高 等 学 校 教 頭 廣 瀬 修 一

6 講師プロフィール

藤 木 卓

長崎大学卒業。卒業後、県内公立中学校3校に11年間勤務。1989年より、長崎大学教育学部講師、助教授を経て、同学部生活健康講座教授・同学部附属教育実践総合センター長、現在に至る。工学博士（東京工業大学）。専門分野は技術科教育、教育工学、情報教育。平成18年～20年度文部科学省特定の課題に関する調査問題作成委員会委員（中学校技術・家庭 技術分野）、平成21年度文部科学省「学力の把握に関する研究指定校事業」企画委員等兼務。著書等に「技術の科学的認識を形成する授業と評価（CD-ROM版 技術科教育実践講座理論編1）」（ニチブン、2002、分担執筆）、「遠隔学習のためのVRと実写の合成映像に関する主観評価」（日本教育工学会論文誌、2008）等。

村 岡 雄 治

京都府立桂高等学校、京都教育大学教育学部附属高等学校数学科教諭を経て、平成3年から8年まで同校副校長・教頭を務める。その間、同大学教育学部非常勤講師を兼務。退官後（平成8年）、明治学園高等学校等講師を経、平成14年より福岡工業大学附属城東高等学校講師、数学アドバイザーを務める。平成16年より同校総括、平成21年より校長代理を兼務。京都教育大学、同大学附属高校紀要等に多数論文を執筆。さらに世界思想社教学社大学別入試問題解説の執筆を40年間続け、現在も継続中。

7 運営委員

委員長	富 永 秋 人	（海星中学校・高等学校 校長）
副委員長	尼 崎 正 明	（長崎女子商業高等学校 校長）
委員	清 水 政 幸	（海星中学校・高等学校 教頭）
	廣 瀬 修 一	（長崎女子商業高等学校 教頭）
	光 岡 剛 広	（海星中学校・高等学校 教諭）
	松 田 浩一郎	（長崎女子商業高等学校 教諭）
	武 川 眞一郎	（海星中学校・高等学校 教諭）
	菅 田 富 士	（長崎女子商業高等学校 教諭）
	福 田 隆 信	（海星中学校・高等学校 教諭）

3 生徒指導部会

「学校へ行きたくない」「保健室登校」「生活指導の注意を受ける」など課題を持った生徒は、生活のリズム、基本的な生活習慣が崩れている傾向が強い。

「家で宿題をする」「読書が好き」「朝食を毎日食べる」「家族と学校の出来事を話す」「学校の決まり・規則を守っている」など教師が当たり前と思っている生活（食事、会話、睡眠、排便など）をしている生徒達は、学力、体力共に良い生活をしていると見受けられる。

生徒指導部会の課題は、時代社会の影響を受け様々であるが、指導の基本に戻り下記の目標を掲げた。規則正しい生活 — 基本的な生活習慣 — をどのように育成するか、講演や現場での取り組みを行っている実践校の研究発表を通して生徒指導のあり方を共有したい。

1 研究目標 基本的な生活習慣 — 自立・自律 — を育成する生活指導

2 会場 ハウステンボス ユトレヒト3階 第5会議室

3 募集人員 90名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受付	講演 I	講演 II	昼食	研究発表 I	研究発表 II		閉会式	

5 内容

講演 I 「思春期のメンタルヘルス」

講演 II 「子供を支える大人のために」

講師 医療法人カメリア大村共立病院 副院長 宮田 雄 吾

研究発表 I 「1ヶ月食改善プログラム取組報告
— 低体温・便秘・血流改善後の心と学力の変化 —」

発表者 聖和女子学院高等学校 非常勤講師 中尾 慶子

研究発表 II 「情報社会における学校教育の光と陰」

発表者 ルーテル学院中学校・高等学校 教諭 西山 慎一郎

6 講師プロフィール

宮田 雄吾

長崎大学医学部卒。同大学医学部精神神経科に入局後、長崎県立大村病院、佐世保市立総合病院を経て、平成12年より医療法人カメリア・大村共立病院に勤務。平成15年から平成18年まで、情緒障害児短期治療施設「大村椿の森学園」園長を兼務。現在は同学園主任医師と大村共立病院副院長を兼務。精神科一般臨床の傍ら、被虐待児治療を中心とした児童思春期精神医療及び嗜癖問題（過食、自傷、アルコール問題）等に取り組んでいる。著書に『こころの病気がわかる絵本シリーズ』『子育てがつかなくなったら読む本』『学校生活じぶん防衛軍』『悩みが解決する友だちづきあいのコツ』『子どもの心の処方箋～精神科児童思春期外来の現場から』など。毎週金曜日NBC長崎放送満腹ワイドラジDONぶり「教えて！宮田先生 心も体も元気トーク」に出演中。

7 運営委員

委員長	神田 道彦（活水中学校・高等学校 校長）
副委員長	玉城 保美（長崎総合科学大学附属高等学校 校長）
委員	大岩 厚（活水中学校・高等学校 教頭）
	松本 浩（長崎総合科学大学附属高等学校 教諭）
	増田 康子（活水中学校・高等学校 教諭）
	尾崎 洋介（長崎総合科学大学附属高等学校 教諭）
	岩永 崇史（活水中学校・高等学校 教諭）
	福島 誠一郎（長崎総合科学大学附属高等学校 教諭）

4 進路指導部会

生徒たちの高校卒業後の進路選択は、大学進学から就職に至るまでの広範囲にわたる。進路指導に携わる私たち教員は、常に大学や企業に関する最新の情報を収集し、生徒一人一人の要望にふさわしく応えていかなければならない。本部会では、大学進学をめぐる高校と大学の連携の問題、大学進学を志す生徒への進路指導の問題、就職を志す生徒への進路指導の問題を取り上げ、様々な角度から進路指導の問題を共に考えていきたいと思う。

1 研究目標 生徒の潜在能力を掘り起こす、堅実な進路指導の実践

2 会場 ハウステンボス ユトレヒト3階 第4会議室

3 募集人員 150名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受付	講演	研究発表Ⅰ	昼食	研究発表Ⅱ	研究発表Ⅲ		閉会式	

5 内容

講演 「高大の教育接続と入試の共存」

講師 長崎大学 副学長 山口 恭弘

研究発表Ⅰ 「生徒の潜在能力を掘り起こす実践的指導」

発表者 鎮西学院高等学校 教諭 飯盛 敬太郎

発表者 鎮西学院高等学校 教諭 山口 尚寛

研究発表Ⅱ 「進路保障をする特別進学クラスのあり方

— 国公立大学合格実績90%を目指して —

発表者 長崎南山中学校・高等学校 教諭 小田 正樹

研究発表Ⅲ 「企業が求める人材とは」

発表者 鹿児島情報高等学校 教諭 新納 武彦

6 講師プロフィール

山口 恭 弘

1990年 長崎大学大学院海洋生産科学研究科博士後期課程単位取得。長崎大学水産学部助手、助教授を経て、2003年より教授、2008年より同大学副学長（入試担当）、現在に至る。その間、1995年に日本航海学会論文賞受賞、1999年、長崎県自然科学教育研究会主宰、同年、日本水産工学会奨励賞受賞。2000年、文部省在外研究員としてオーストラリアNSW Fisheries留学。著書に「英和和英水産学用語辞典(日本水産学会編)」(共著、恒星社厚生閣、東京、2001)、「自然科学分野での双方向的高校・大学連携について」(長崎大学叢書、pp.63-79、2002)、「改訂水産海洋ハンドブック」(共著、生物研究社、東京、2010)、その他専門(漁具漁法学)関係の学術論論文、国際会議プロシーディング他、多数。

7 運営委員

委員 長	松 本 勝 男 (長崎南山中学校・高等学校 校長)
副委員 長	川 村 正 徳 (鎮西学院高等学校 校長)
委 員	相 庭 建 次 (鎮西学院高等学校 副校長)
	中 嶋 信 行 (長崎南山中学校・高等学校 教諭)
	齊 藤 州 澄 (鎮西学院高等学校 教諭)
	川 添 正 英 (長崎南山中学校・高等学校 教諭)
	奥 村 新 輔 (鎮西学院高等学校 教諭)
	田 川 幸 嗣 (長崎南山中学校・高等学校 教諭)
	山 口 壮 一 (鎮西学院高等学校 教諭)
	小 峯 立 也 (長崎南山中学校・高等学校 教諭)

5 国際理解教育部会

近年、情報化は日々発展し、ユビキタス時代を迎えている。こうした情報社会で教育されていく中学生・高校生の将来は、確実に諸外国との連携を深くし、地球市民として貢献していくことが求められている。

そのためにも、真の国際人の育成を目指して、外国の人々から共感や敬意を寄せられる人格的・文化的な教養を高め、積極的に自国の歴史文化を理解し、他国の文化歴史に対する深い関心を抱かせる教育を目指したいものである。

本部会で、私たちは世界的視野で活躍する大きな可能性を持っている生徒に対峙できるよう、基調講演と研究発表を中心に研修を行いたいと考えている。

古くから海外（オランダ・中国・韓国・ヨーロッパ）との交流の長い歴史を有し、諸外国から多くの人々が訪れ、居住し、異文化間の交流が行われ、外国の人々と共生しながら織りなされてきた文化をもつ長崎において、このような研修がなされることは極めて意義深いものと感じる。

- 1 研究目標 私学教育における国際交流・国際理解
- 2 会 場 ハウステンボス ヌトレヒト3階 第2会議室
- 3 募集人員 80名
- 4 日 程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受 付	講 演	研究発表Ⅰ	昼 食	研究発表Ⅱ	異文化理解 フォーラム		閉 会 式	

- 5 内 容
 - 講 演 「西洋と東洋に開かれた港市 ―長崎から国際理解を考える―」
 - 講 師 長 崎 県 参 与 本 馬 貞 夫
 - 研究発表Ⅰ 「学校交流ホームステイ・国際交流の実り」
 - 発表者 純 心 女 子 高 等 学 校 教 諭 横 溝 彰 彦
 - 研究発表Ⅱ 「国際理解を通して創立された聖和女子学院 ―その発展と課題―」
 - 発表者 聖 和 女 子 学 院 高 等 学 校 教 諭 戸 田 佳 奈

異文化理解フォーラム

中国・韓国・アメリカ・カナダ・イギリスなどからの留学生を招いて、
彼らの立場で「異文化」に触れ、見聞した体験を分かち合う。

コーディネーター 株式会社FMさせぼ ラジオ・パーソナリティ 川崎 奈緒美

6 講師プロフィール

本馬 貞夫

山口大学文理学部国史専攻卒。長崎県立高等学校教諭，長崎県立長崎図書館郷土課長・副館長，長崎県文化振興課参事を経て，現在，長崎県参与。長崎歴史文化博物館の開設準備、特に常設展の制作に携わる。現在、長崎市文化保護審議委員、長崎県中近世城館調査指導委員会副委員長を兼務。著書に、『貿易都市長崎の研究』（九州大学出版会，2009年），『九州の蘭学』（思文閣，2009，共著），『オランダ通詞会所記録 萬記帳』（県立長崎図書館郷土史料叢書一，責任編集・校正，解説執筆，2001年），『街道の日本史50 佐賀・島原と長崎街道』（共著，吉川弘文館，2003年），『街道の日本史49 壱岐・対馬と松浦半島』（共著，吉川弘文館，2006年）など。

川崎 奈緒美

明星大学人文学部心理教育学科卒。平成20年度第二期長崎県高校改革推進会議委員。現在は、民生児童委員、山澄中学校区青少年健全育成連絡協議会会長、株式会社相生市場役員等を兼任。また、国際ソロプチミスト佐世保会員として地元高校の活動を支援。（国際ソロプチミスト：実業界で活躍する女性、専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕組織で、地域社会と世界中で女性と女兒の生活を向上させる活動をしている。〈国際ソロプチミスト佐世保HPより〉）

2009年、長崎県高等学校総合文化祭において開会式記念フォーラムをコーディネート。

7 運営委員

委員長	佐藤 洋子（純心中学校・純心女子高等学校 校長）
副委員長	真下 和枝（聖和女子学院中学校・高等学校 校長）
委員	鶴谷 和身（純心中学校・純心女子高等学校 教頭）
	藤村 憲吾（聖和女子学院中学校・高等学校 教頭）
	横溝 彰彦（純心中学校・純心女子高等学校 教諭）
	戸田 佳奈（聖和女子学院中学校・高等学校 教諭）
	小佐々 直子（純心中学校・純心女子高等学校 教諭）
	坂本 恭子（聖和女子学院中学校・高等学校 教諭）
	横田 まり子（純心中学校・純心女子高等学校 教諭）

6 特色教育部会

少子化が加速するなかで、私学はこれまで以上に魅力ある教育内容の特色を打ち出し、さらなる活性化を図る必要性に迫られている。本部会では建学の精神を踏まえた特色ある私学教育のあり方について基調講演や実践発表を基に研修を深めたい。

1 研究目標 社会のニーズに応える特色ある私学教育のあり方

2 会場 ハウステンボス ユトレヒト3階 第3会議室

3 募集人員 80名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月15日	受付	基調講演	研究発表Ⅰ	昼食	研究発表Ⅱ	研究発表Ⅲ		閉会式	

5 内容

基調講演 「公立体験をふまえての私学観」
講師 元長崎女子短期大学 学長 田中正明

研究発表Ⅰ 「看護教育における縦割り指導の取り組み」
発表者 向陽高等学校 校長 三根真三郎
発表者 向陽高等学校 教諭 赤岩ひろみ

研究発表Ⅱ 「私立高等学校における特別支援教育の取り組みについて
—高等学校における発達障害のある生徒への支援—」
発表者 長崎玉成高等学校 校長 鬼塚謹吉
発表者 長崎玉成高等学校 教諭 上戸綾子

研究発表Ⅲ 「魅力ある私学教育の創造—Dreams Come True (夢は必ず叶う)—」
発表者 大分高等学校 教頭 久保恭友
発表者 大分高等学校 事務長 竹中昭憲

6 講師プロフィール

田 中 正 明

早稲田大学教育学部国語国文学科卒。長崎県公立学校教諭、同県教育庁教育企画担当指導主事、同県立島原高等学校教頭、長崎県立中五島・小浜・長崎北高等学校校長を歴任。公立校退任後、長崎県美術博物館館長、長崎女子高等学校校長を経て、長崎女子短期大学学長に就任し、8年間私立短大経営に携わる。現在、長崎国際文化協会副会長。平成20年、教育・文化の実践により瑞宝小綬章受賞。ライフワークとして源氏物語の普及にかけ、35年間、長崎源氏物語カルチュアを主宰、現在に至る。「生徒は見えつづける」「博物館での断想」「ミュージアムのうちそと」「源氏物語と生涯学習」「生涯学習としての源氏物語」「教育は指示の芸」など著書多数。

7 運営委員

委員長	三 根 真三郎（向陽高等学校 校長）
副委員長	鬼 塚 謹 吉（長崎玉成高等学校 校長）
委 員	桑 戸 啓（向陽高等学校 教頭）
	松 本 尚 由（長崎玉成高等学校 教頭）
	赤 岩 ひろみ（向陽高等学校 教諭）
	上 戸 綾 子（長崎玉成高等学校 教諭）
	小 山 ミヨ子（向陽高等学校 助教諭）
	東 亜 弥（長崎玉成高等学校 教諭）

参加申込みと参加費の納入について

1 参加申込みについて

- (1) 大会参加者は、別紙「平成22年度第58回全国私学教育研究集会長崎大会参加申込書」に必要事項を記入し、下記事務局あてお送り下さい。
なお、会場スペースに限りがありますので、部会の申込み受付は先着順とし、定員に達した場合、締め切らせていただくことがあります。
- (2) 申込書は、学校分を一括して記入し、必ず代表者を明記してお送り下さい。今後、参加に関する書類等は、代表者の方あてにまとめてお送りさせていただきます。
- (3) 参加内容につきましては下記のことにご注意してご記入下さい。
 - ①全体集会のみに参加する場合は、「全体集会のみの参加」欄に○印を記入して下さい。
 - ②教育懇談会に参加をご希望の方は、「教育懇談会」欄に○印を記入して下さい。教育懇談会の費用（5,000円）は、大会参加費と同時に請求いたします。
 - ③部会について第2希望がある場合、申込書の第2希望欄に○印を記入して下さい。
- (4) 申込み後の部会の変更はご遠慮下さい。

2 参加費の納入について

- (1) 参加費は、お一人**13,000円**（九州地区内の学校の参加者は**10,000円**）です。
※参加費には10月15日の昼食費が含まれます。
- (2) 申込み締切後に各参加者毎に確認証と併せて請求書・払込票をお送りいたします。受付内容と費用をご確認の上、ご送金下さい。払込票は指定のコンビニエンスストアでお支払いいただけます。（振込み手数料は無料です。）
- (3) 納入された参加費はお返しできませんので、ご了承下さい。

■参加申込書送付及びお問合せ先

財団法人日本私学教育研究所

「第58回全国私学教育研究集会長崎大会事務局」

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階

電話03-3222-1621 FAX03-3222-1683

（郵送あるいはFAXでお申込み下さい。）

申込み締切日 9月16日（木）（必着）

交通のご案内

【1】ハウステンボス入国口から各会場への案内

初日の受付時・レセプション終了時および2日目の部会受付時・終了時に送迎バスを下記のとおり運行いたしますのでご利用ください。

10月14日	12時00分～14時00分	入国口→ウインズ佐世保入口
10月14日	19時30分～20時30分	ユトレヒト→出口駐車場
10月15日	8時00分～9時00分	入国口→ユトレヒト経由ホテルヨーロッパ
10月15日	16時00分～17時00分	ユトレヒト→出口駐車場

※各時刻の送迎バスは3台のバスで行いますが、満員となった場合、お待ちいただくこととなりますのでご了承くださいませようようお願い申し上げます。なお、10月15日のユトレヒトから出口駐車場の送迎バスは、都合により、出発時刻が遅れる場合がございますので、ご了承ください。

※徒歩で行かれる場合は、入国口からウインズ佐世保まで約8分、ユトレヒトプラザまで約15分、ホテルヨーロッパまで約20分です。なお、入国口ゲートは午前9時に開門されます。午前9時前の入国は時間外出入り口（出国棟とホテル日航の間の通路）からとなります。（確認証送付時に、ハウステンボス入場券を同封いたしますので、入国時にご提示ください。）

【2】各地からの交通案内

注：() 内の時間はおよその所要時間です。ご利用の場合は、実際の時刻表等でご確認ください。

JRハウステンボス駅からハウステンボス入国口は徒歩にて約10分。

〔福岡から〕

【福岡空港・博多駅からJR】所要時間：約2時間

福岡空港→（地下鉄で5分）→博多駅→（特急「ハウステンボス」で1時間40分）→ハウステンボス駅

〔長崎空港から〕

【船】所要時間：約50分。 料金：片道1700円（安田産業汽船株式会社 大村湾内航路）

長崎空港→（高速船で50分）→ハウステンボス（マリントーミナル）

※乗船は、乗客が多い場合、予約者優先となります。利用をご希望の方は事前に予約していただきますようお願い申し上げます。なお、飛行機発着時刻に合わせて船のダイヤ改正を行っておりますので、約1～2ヶ月前から予約を受け付けております。お問い合わせ・ご予約は、大村予約センター（0957-54-4740）、ハウステンボス営業所（0956-27-0163）に直接ご連絡ください。安田産業汽船株式会社ホームページ：<http://kisen.yasuda-gp.net/>

【直行バス】所要時間：約50分

長崎空港→（バスで約50分）→ハウステンボス入国口

〔長崎から〕

【JR】約1時間30分

長崎駅→（長崎本線／大村線・快速「シーサイドライナー」）→ハウステンボス駅

〔大分・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄から〕

J R 線「鹿児島中央→（新幹線）→新八代→（特急）→鳥栖→（特急）→ハウステンボス」（約4時間）

飛行機「宮崎空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約3.5時間）

J R 線「佐賀→（特急）→ハウステンボス」（約1.5時間）

J R 線「大分→（特急）→博多→（特急）→ハウステンボス」（約4.5時間）

J R 線「熊本→（特急）→鳥栖→（特急）→ハウステンボス」（約3時間）

飛行機「那覇空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約4.5時間）

〔札幌から〕

飛行機「新千歳空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約6時間）

〔仙台から〕

飛行機「仙台空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約5時間）

〔東京から〕

飛行機「東京国際空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約4.5時間）

飛行機「東京国際空港→長崎空港→（直行バス）→ハウステンボス」（約3.5時間）

J R 線「東京駅→（新幹線）→博多駅→（特急）→ハウステンボス」（約7時間）

〔北陸から〕

飛行機「小松空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約4.5時間）

〔名古屋から〕

飛行機「名古屋，中部国際空港→長崎空港→ハウステンボス」（約4.5時間）

J R 線「名古屋→（新幹線）→博多駅→（特急）→ハウステンボス」（約5.5時間）

〔大阪から〕

飛行機「大阪国際，関西国際空港→長崎空港→ハウステンボス」（約4時間）

J R 線「新大阪→（新幹線）→博多駅→（特急）→ハウステンボス」（約5時間）

〔広島から〕

J R 線「広島→（新幹線）→博多駅→（特急）→ハウステンボス」（約3.5時間）

〔四国から〕

飛行機「高知龍馬空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約3.5時間）

飛行機「松山空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約3.5時間）

飛行機「徳島空港→福岡空港→博多駅→ハウステンボス」（約4.5時間）

J R 線「高松→岡山→（新幹線）→博多駅→（特急）→ハウステンボス」（約5時間）

お車でご来場の方へ 【※駐車場を利用する場合は必ず「参加申込書所定欄」にご記入ください。】

ハウステンボス専用の駐車場に駐車することができます。（無料）

お車でお越しの際には、研修時間に間に合うよう余裕を持ってお越してください。

〔ハウステンボス周辺有料道路から（自家用車）〕

長崎自動車道・東彼杵IC→（国道205号）→ハウステンボス（約25分）

西九州自動車道・大塔IC→（国道205号）→ハウステンボス（約10分）

宿泊の申込みについてのご案内

この度は、「平成22年度全国私立中学高等学校 第58回全国私学教育研究集会長崎大会」が佐世保市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

開催に際し、ご参加の皆様の宿泊のお世話をJTB法人東京教育第一事業部にてお取り扱いをさせていただくことになりました。

今大会の成功を祈念し、精一杯大会の運営業務のお手伝いをさせていただくことをお約束するとともに、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

【1】宿泊のお申し込みについて

- ①下表の宿泊代金は一泊朝食付き税・サービス料込みの料金です。シングルはお一人様、ツインはお二人様合計の料金です。
- ②ご希望ホテルが満室の際は、代案ホテルをご提示させていただきます。あらかじめ申込書には第二希望までのご記入をお願い致します。又予約が集中した際はご希望に添えない場合もあります。その際は代案をご提示致しますので予めご承知おき下さい。

利用ホテル名	備 考	料金	申込記号
佐世保ワシントンホテル ※ホテルから会場までは電車またはバスを利用して約1時間(下記参照)。	シングル 1名利用	8,500円	A-1
	ツイン 2名利用	17,000円	A-2
チサングランド佐世保 ※ホテルから会場までは電車またはバスを利用して約1時間(下記参照)。	シングル 1名利用	8,500円	B-1
	ツイン 2名利用	17,000円	B-2
ホテルヨーロッパ ※ハウステンボス内	シングル 1名利用	18,240円	C-1
	ツイン 2名利用	30,320円	C-2
ホテルアムステルダム ※ハウステンボス内	シングル 1名利用	15,240円	D-1
	ツイン 2名利用	25,320円	D-2
	トリプル 3名利用	33,480円	D-3
フォレストヴィラ ※ハウステンボス内	トリプル 3名利用	36,450円	E-1
	フォース 4名利用	46,320円	E-2
	フィフス 5名利用	57,900円	E-3
ハウステンボスジェイアール全日空ホテル ※ハウステンボス出入国口付近	ツイン・ダブル 1名利用	16,950円	F-1
	ツイン 2名利用	18,900円	F-2

◎「佐世保ワシントンホテル」・「チサングランド佐世保」から会場へのアクセス

JR佐世保駅(佐世保ワシントンホテルから徒歩約5分、チサングランド佐世保からタクシーにて約5分)から電車(JR佐世保線・片道270円)または路線バス(西肥バス・片道490円)を利用して約1時間を要します。(交通事情等により所要時間が異なる場合があります。)

【2】お申し込み方法について

- ①宿泊のお申込は、「宿泊申込書」に希望事項をご記入の上、FAX(03-5909-8040)にて、JTB法人東京教育第一事業部へ平成22年9月16日(木)までにお申し込みください。

- ②宿泊お申込内容確認後、10月1日（金）に「予約確認書」・「請求書」を発送致します。
 ※お申し込みのFAXを受領後JTBからのご連絡は上記②以外は致しませんので予めご承
 知おき下さい。
 ※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切致しません。

【3】 お支払い方法について

- ①予約確認書・請求書が届きしだい、お振込にてお支払いください（振込み手数料は
 ご負担くださいますようお願い申し上げます）。
 ②宿泊代金をホテルで直接精算することはできません。

【4】 変更・取消しについて

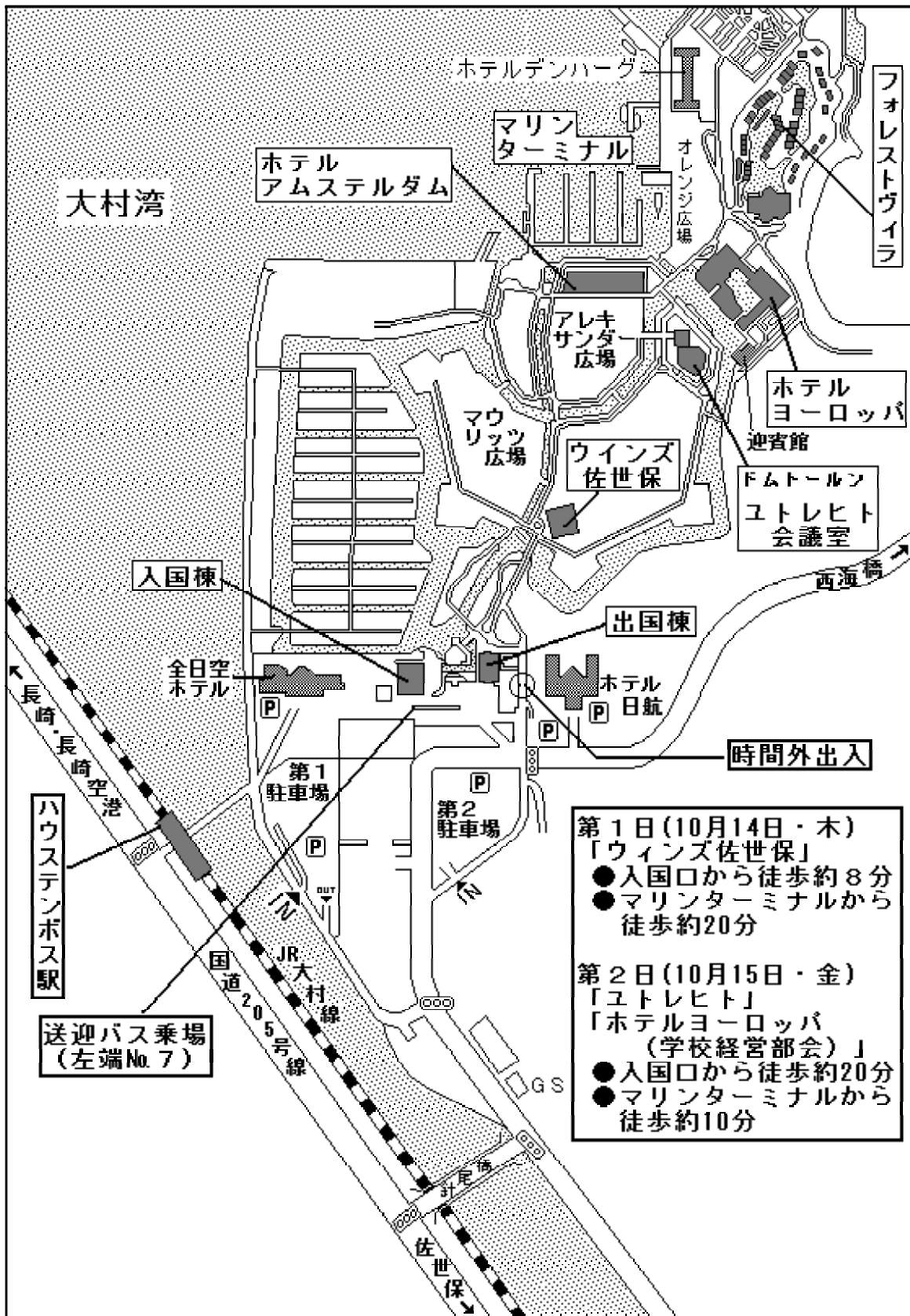
- ① 必ずFAX（03-5909-8040）にてご連絡をお願い致します。
 ② 取消料金は下記をご参照ください。

宿 泊	取消日	7日～3日前	2日～前日	当 日	無 連 絡
	取消料	30%	50%	100%	100%

【5】 お申し込み・お問い合わせ先

JTB 法人東京教育第一事業部 担当：営業4課 笹川・釣部・吉澤・渡辺
 〒163-1065 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー26階
 Tel：03-5909-8034/Fax：03-5909-8040

会場（ハウステンボス）案内図



平成22年度 第58回全国私学教育研究集会長崎大会 参加申込書

申込み締切日：9月16日（木）

申込書
送付・
送信先

(財)日本私学教育研究所「第58回全国私学教育研究集会長崎大会事務局」宛
FAX：03-3222-1683
郵 送：〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階
電話 03-3222-1621

平成22年 ____ 月 ____ 日

都道府県名		学 校 名	
参加確認証 受取人氏名	※参加確認証は学校宛にお送りいたします。受取人氏名の記載がない場合は、No.1の欄に記入いただいた先生宛にお送りいたします。		
学校所在地	〒 _____ TEL _____ FAX _____		

No.	ふりがな 氏 名	(役職名) 性 別	参 加 内 容 (該当する欄に○印を付して下さい。上段：第1希望 下段：第2希望)							駐車場の希望		
			私学 経営	教育 課程	生徒 指導	進路 指導	国際理 解教育	特色 教育	全体集会 のみ参加		教育 懇談会	
例	させぼ さきこ ----- 佐世保 崎 子	(学校長) 男 ・ 女	○								○	利用 1.する 2.しない
1	-----	(_____) 男 ・ 女										利用 1.する 2.しない
2	-----	(_____) 男 ・ 女										利用 1.する 2.しない
3	-----	(_____) 男 ・ 女										利用 1.する 2.しない
4	-----	(_____) 男 ・ 女										利用 1.する 2.しない
5	-----	(_____) 男 ・ 女										利用 1.する 2.しない

切り取り線

※参加者が6名以上の場合は、恐れ入りますが本用紙をコピーしてご使用下さい。なお、その際、上欄の学校名を各々に記載し、右欄に1、2、…、のように番号を記入して下さい。

No. _____

新規
変更

平成22年度 第58回全国私学教育研究集会長崎大会宿泊申込書

申込み締切日：9月16日（木）

※JTB記入欄

申込書送信先
JTB法人東京 教育第一事業部営業第四課 FAX：03-5909-8040

都道府県	
学校名	

*登録No.	
*受付日	

代表者名	学校所在地（宿泊確認書等送付先）	電話
(フリガナ)		() -
		F A X
		() -

	ふりがな 氏名	性別	禁煙・喫煙	宿泊（各日、左側→第1希望・右側→第2希望）				同室希望者氏名			
				10/13 (水)		10/14 (木)		10/15 (金)		※ツインルーム等1室2名以上での宿泊をご希望 される方は同室の方の氏名をご記入ください。	
例	わたなべ まさる 渡辺 優	男	禁煙	×	×	B-2	C-2	B-1	C-1	(氏名) 小島 啓司	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)
										(氏名)	(備考)

個人情報について お預かりしました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」並びに「当社個人情報保護方針」に基づき、漏洩、不正利用、改ざんなどのないよう適正な管理に努めます。また、保有の必要がなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。